

「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書

福岡県・二丈町地域

I 地域の概要（平成15年4月現在）

二丈町地域	モデル校数：小学校2校、中学校1校、高等学校1校
二丈町立深江小学校	学級数14、児童数365名
二丈町立一貴山小学校	学級数7、児童数225名
二丈町立二丈中学校	学級数11、生徒数352名
福岡県立 糸島農業高等学校	全日制課程 生徒数460名 設置学科〔農業技術科、農業経済科、食品科学科、生活科学科〕

II 平成15年度の実践研究の概要

1 推進地域の研究の見通しを踏まえて定めた、モデル地域としての現状及び研究の計画・見通し等

(1) モデル地域における「総合的な学習の時間」の現状と問題点

【現状】

- 学校間の連携不足により、地域の人的資源や物的資源の重複が見られ活動に支障を来している。
- 学校間の連携不足により、小学校と中学校の学習内容や活動の重複が見られ、中学生に一部学習意欲の減退が見られる。

【問題点】

- 小中高の連携により、地域の人的資源や物的資源の有効活用を図る。
- 小中高の連携により、発達段階に応じた各学校の学習内容や活動を明確化する。
- 専門的な知識や技能を有する農業高校と小中学校の有機的な連携の在り方を究明し、学習の質的向上を図る。

(2) モデル事業の実践研究

【2年間を通じた研究の計画・見通し】

- ア 地域の人的資源や物的資源の有効活用の在り方を究明する。
→ 2年間の期間中に、地域の人材・施設一覧を作成し、各学校に配布し活用していく。
- イ 小中高の発達段階における学習内容・活動等を明らかにする。
→ 2年間の期間中に、小中高における身につけさせるべき力の系統化一覧と「環境」「福祉」における学習内容の系統化一覧を作成する。
- ウ 小中高の人的交流の在り方（児童生徒間・教師間）を究明する。
→ 2年間の期間中に、小中高における児童生徒間の相互交流ができる単元や活動の洗い出しをする。
→ 定期的に教師間の情報交換の場を設定し、総合的な学習の時間の充実を図る。

【モデル事業としての取組の評価の観点と検証の方法】

アについて

地域の人材・施設一覧を作成し、各学校に配布するとともに、活用状況を調査する。

イについて

身につけさせるべき力の系統化一覧及び「環境」「福祉」における学習内容の系統化一覧が、実態に沿うものであるかどうかを児童生徒及び教師対象の意識調査を実施し、明らかにする。

ウについて

- ・ 年間指導計画の中に、児童生徒間の相互交流ができる時期や内容を明記する。
- ・ 定期的な教師間の情報交換の場が、総合的な学習の時間の充実に有効であるかどうかを教師対象の意識調査を実施し、明らかにする。

2 平成15年度の取組概要

アについて

- ・ 各学校において、地域の人材・施設一覧を作成する。

イについて

- ・ 小中高における身につけさせるべき力の系統化一覧を作成する。
- ・ 「環境」「福祉」における学習内容の系統化一覧を作成する。

ウについて

- ・ 教師の情報交換の場として、実行委員会・推進委員会を開催する。
- ・ コンピュータ（コミュニケーションボード）を活用し、情報交換を密に行なう。

3 平成15年度の成果及び課題

アについて

- 各学校において、地域の人材・施設一覧を作成することができた。
- 地域の人材・施設一覧の活用方法と活用状況を明らかにする。

イについて

- 小中高における身につけさせるべき力の系統化一覧を作成することができた。
- 「環境」「福祉」における学習内容の系統化一覧を作成することができた。
- 作成した系統化一覧が、実態に合うものかどうか、実践を通して検証する必要がある。

ウについて

- 教師の情報交換の場として、実行委員会・推進委員会を開催することができた。
- コンピュータ（コミュニケーションボード）を活用し、情報交換を密に行なうことができた。
- 年度途中からの研究であったため、実行委員会・推進委員会の開催が計画的でなく、内容的にも不十分であった。
- 年度途中からの研究であったため、各学校全職員への啓発が不十分であった。

III 平成16年度の実践研究の概要

① 実行委員会・推進委員会の定期的開催

→ 実行委員会・推進委員会を定期的（毎月）に開催し、研究内容を充実させる。

② 小中高における身につけさせるべき力の系統化一覧を意識した授業の展開

→ 各学校全体計画に位置づけた身につけさせるべき力の系統化一覧を意識した授業を展開し、実態に即した系統化一覧の改善を図る。

③ 「環境」「福祉」における学習内容の系統化一覧を意識した授業の展開

→ 「環境」「福祉」における学習内容の系統化一覧を意識した授業を展開し、実態に即した系統化一覧の改善を図る。

④ 小中高の学校間における授業参観

→ 小中高の学校間における授業を参観し、身につけさせるべき力や学習内容の系統化一覧の改善を図る。

⑤ モデル事業報告会の開催

→ 平成16年11月12日に二丈町推進地域におけるモデル事業の報告会を開催し、成果と課題を発信していく。

「総合的な学習の時間」モデル事業二丈町推進地域
平成15年度の取組の概要

実施時期	主な取組	内 容 等
6月13日 (二丈中)	文部科学省から「総合的な学習の時間」モデル事業の地域指定	
8月 6日 (二丈中)	二丈町モデル事業の実施について 県教委より説明会	○事業実施・予算について ○協議会の設置について
9月12日 (二丈中)	文部科学省訪問によるモデル事業 の説明会(村上調査官、吉田係官)	○モデル事業の趣旨及び事務 ○今後のスケジュール
10月17日 (二丈中)	第1回実行委員会	○連絡協議会・実行委員会のメンバー 確認 ○今年度の推進計画
12月10日 ～11日	先進校視察 ・熊本県立鹿本高校 ・熊本県植木町立鹿南中学校	○高等学校の「総合的な学習の時間」 の実際 ○小中連携の在り方
12月11日 (二丈中)	第2回実行委員会	○系統性・発展性一覧の作成確認 ○コミュニケーションボードの開設
1月 8日 (二丈中)	第3回実行委員会	○コミュニケーションボードの活用 ○各学校の全体計画の集約 ○実践研究成果の発信 ○今後の具体的な進め方
1月21日 (二丈中) 1月29日 ～30日	第1回推進委員会 文部科学省研究協議会	○身につけさせたい力の系統一覧の検 討 ○系統性・発展性一覧の検討
2月13日 (二丈中)	前原市・二丈町地域合同研修会	○各地域からの事業報告 ○文部科学省研究協議会の報告 ○次年度に向けて
3月 4日 (二丈中)	第2回推進委員会	○研究主題・副主題 ○実践研究成果の発信
3月	報告書提出	

「総合的な学習の時間」モデル事業二丈町推進地域
平成16年度の取組の概要（計画）

実施時期	主な取組	内 容 等
4月	第1回連絡協議会 第1回実行委員会 第1回推進委員会	○今年度研究内容の確認 ○学校間の授業参観時期の確認 ○地域の人材・施設一覧の作成配布
5月	第1回前原市・二丈町地域合同研修会 第2回実行委員会 第2回推進委員会	○講師招聘による研修会 ・モデル事業の充実に向けて ○指導案の様式の検討
6月	第3回実行委員会 第3回推進委員会	○評価規準の設定・補助簿の活用 ○学校間の授業参観
7月	第4回実行委員会 第4回推進委員会	○公開授業指導案の検討 ○学校間の授業参観
8月	第5回実行委員会 第5回推進委員会	○2学期以降の学校間の連携 ○公開授業指導案の検討
9月	第6回実行委員会 第6回推進委員会	○学校間の授業参観
10月	第7回実行委員会 第7回推進委員会	○報告会に向けて ○学校間の授業参観
11月 11月12日	第8回実行委員会 第8回推進委員会 二丈町地域報告会	○報告会に向けて ○報告会・公開授業
12月	第9回実行委員会 第9回推進委員会	○報告会の総括 ○活動報告書の作成について ○研究指定期間終了後の取組
1月	文部科学省研究協議会 第10回実行委員会 第10回推進委員会	○平成17年度の全体計画の作成について ○活動報告書の検討
2月	第2回連絡協議会 第11回実行委員会 第11回推進委員会	○モデル事業全体の総括 ○今後の取組確認
3月	報告書提出	